

赤坂智子 & 佐藤晴真

ヴィオラ

デュオ・リサイタル

チェロ

二人の名手が織りなす弦の魅力

PROGRAM

ベートーヴェン: ヴィオラとチェロのための二重奏曲《2つのオブリガート眼鏡付き》

Ludwig van Beethoven: Duo for Viola and Cello in E flat major, WoO 32, "Mit 2 obligaten Augengläsern"

ルトスワフスキ: 牧歌集《Bucolics》(ヴィオラ、チェロ版)

Witold Lutoslawski: Bucolics

クラーク: 子守歌とグロテスク(ヴィオラ、チェロ版)

Rebecca Clarke: Lullaby and Grotesque

J.S. バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第2番

Johann Sebastian Bach: Cello Suite No. 2 in D minor, BWV1008

ヒンデミット: 二重奏曲断章(ヴィオラ、チェロ版)

Paul Hindemith: Duetsatz

レーガー: 無伴奏ヴィオラ組曲 第2番

Max Reger: Viola Suite No. 2 in D major, op. 131d

デメンガ: Duo? O, Du

Thomas Demenga: Duo? O, Du

モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 K.423(ヴィオラ、チェロ版 ハ長調)

Wolfgang Amadeus Mozart: Duo for Violin and Viola in C major, K. 423

©Seichi Saito

2026. **4/18** 土 2:00PM開演 (1:30PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

1/18

日

芸術文化センター
チケットオフィス

0798-68-0255

(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は1/20(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

1/17 土

※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる
場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

春に聴く 至高の技が奏でる二重奏

ヴァイオラとチェロのデュオ。珍しい編成だと思われる方も多いかもしれない。演奏機会はそう多くはないが、驚くほどの魅力がある。楽器の大きさ、演奏スタイルや奏法の異なる2艇はそれぞれが特徴的でありながら、弦の配置が1オクターブしか変わらず、音域がとても近いことで2つの音色は見事に溶け合い統一感のある美しい響きを生み出す。

今回、世界を舞台に活躍するヴァイオリスト赤坂智子と、その世代で最も注目を集める気鋭のチェロ奏者、佐藤晴真が共演する。バイエルン放送交響楽団との共演をはじめ欧州を拠点に活躍する赤坂は、若くしてドイツのミュンスター音楽大学で教授を務める実力派。同じくドイツと東京を拠点にする佐藤は、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人初の優勝を果たし一躍国際的に注目を集め、国内外の主要オーケストラと共演を重ねている。プログラムは、ベートーヴェンが親しい友人のために書いたと言われるヴァイオラとチェロによる二重奏曲の大傑作「2つのオブリガート眼鏡付き」にはじまり、チェロの名曲誉れ高きJ.S.バッハ「無伴奏チェロ組曲第2番」や、ヴァイオラ奏者として活躍した女性作曲家クラークの「子守歌とグロテスク」など隠れた名曲も飛び出す。名手二人が織りなす二重奏の芳醇な響きを心おきなく堪能いただきたい。



©Seiichi Saito

ヴァイオラ:赤坂智子

Tomoko Akasaka, viola

ジュネーブ音楽院で今井信子氏に師事し、同校助教授およびヌシャテル音楽院客員教授を経て、現在はミュンスター音楽大学教授を務める。セイジ・オザワ松本フェスティバルやNHK「名曲アルバム」に出演し、国内外でリサイタルや室内楽が放送・放映された。ルツェルン、ヴェルビエ、ザルツブルク各音楽祭に招かれ、欧州の主要ホールで演奏を重ねる。ギドン・クレーメル、ジョシュア・ベル、アンドレアス・オッテンザマーら著名演奏家や一流弦楽四重奏団と共演し、ソリストとしても欧州・日本の主要オーケストラと共演。第53回ミュンヘン国際音楽コンクール第3位、Edmund Pendreton財団より「ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー」受賞。2024/2025シーズンはムジークフェライン室内楽シリーズ、オリヴァー・シュナイダー・トリオとのツアー、ジュネーブ国際コンクール審査員などを務めた。25年6月には、サントリーホールでのチェンバー・ミュージック・ガーデンにてイスラエル・チェンバー・プロジェクトのシーズンゲストとして出演した。

チェロ:佐藤晴真

Haruma Sato, cello

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位など、多数の受賞歴を誇る。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を行う。以降、エッシェンバッハ指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ポペルカ指揮プラハ放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団をはじめ、国内外の主要オーケストラと共演を重ねており、リサイタルや室内楽にも積極的に取り組んでいる。名門ドイツ・グラモフォンより3枚のアルバムをリリースし、いずれも好評を博している。これまでに林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイェンス＝ペーター・マインツ氏に師事している。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。21年度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞を受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。現在、ベルリンと東京を拠点に活動している。

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

- ◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
 - ◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員への
ご登録はこちら

